

施工説明書

表示灯 (リング型) 品番 NYL906CH

表示灯 (リング型)屋外型 品番 NYL906DHA

NYL906CH・NYL906DHA

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付 属 品

- リングブラケット 1コ
- 取付ネジ(M4×15)..... 2本
- リングパッキン(NYL906DHAのみ付属) 1コ
- 防水パッキン(NYL906DHAのみ付属) 1コ
- 施工説明書(本紙) 1枚

安全上のご注意

■必ずお守りください



警告



必ず守る

- 受信機の電源(AC 100 V)を切り、電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電・故障の原因となります。

施工上のご注意

- 本商品に取付可能な発信機は下記のとおりです。

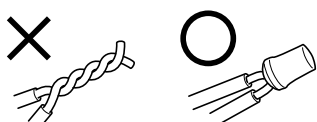
表示灯	発信機
NYL906CH	NYM121CF、NYM125CF、NYM129CF、NYM123CF、NYM207CF
NYL906DHA	NYM122DF、NYM126DF、NYM130DF、NYM124DF、NYM208DF

- 商品の分解・改造は絶対しないでください。故障の原因となります。
- 表示灯を消火栓に取り付ける場合は、音響孔は1ヵ所としてください。

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。

〔電線をよじっただけでは、長期間使用中に電線表面が酸化不良をおこし、接触不良の原因となります。〕

圧着スリーブ処理

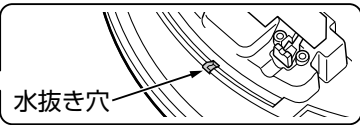
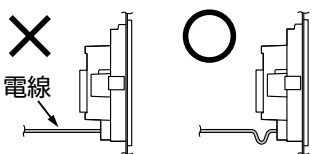


- 配線方法に示す機器以外の機器に接続する場合は、当社にご相談ください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。

- 水が電線をつたわって端子部に浸入しにくいように処理してください。

- NYL906DHAの場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。

- NYL906DHAの施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、表示灯本体と壁面などの間にコーキングをしてください。この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。



- 体育館などでボールが発信機に当たるおそれがある場合は、発信機プロテクタ(埋込型用)(オプション)を取り付けてください。

- 次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障の原因となります。)

NYL906CHの場合

- 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所

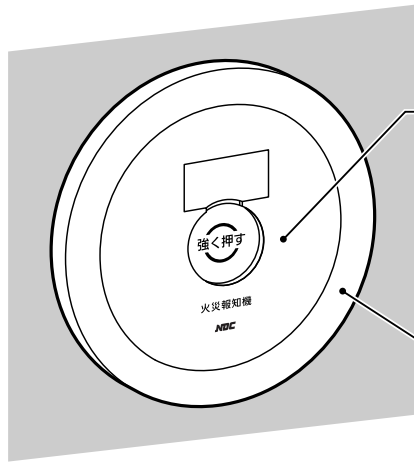
NYL906DHAの場合

- 蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 汚水や海水のかかる場所

施工後の確認方法

- 受信機の電源を入れて、表示灯の発光面が点灯していることを確認してください。
- 発信機の施工後の確認については、発信機に付属の施工説明書を参照してください。

各部のなまえとはたらき



発信機(別売)

- 発信機の操作や点検方法については、発信機に付属の取扱説明書を参照してください。

発光面

- 受信機からの電源供給を受けると、赤色に発光します。

- 図は発信機を取り付けた場合

定格・仕様

	NYL906CH	NYL906DHA
消費電流	9 mA(DC/AC 24 V時)	
使用周囲温度	-10℃～+50℃	
質 量	約130 g	約135 g

点検について

- 日常点検について



注意



必ず守る

- 日常、次の点検を行う。
 - ・発光面が消えていないか？
 - ・カバーの割れ、亀裂はないか？

緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、誤動作の原因となります。

- 異常時の点検・処置について



警告

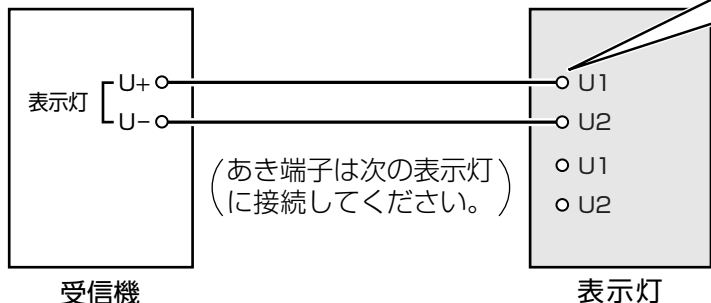


必ず守る

- この商品に異常があるときは点検・処置をする。
異常を放置すると表示灯が発光しないために発信機の出付位置がわからず、避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

状 態	点 検	処 置
発光面が発光しない。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
	受信機の電源(AC 100 V)配線が断線していないか？	配線を直す。
	表示灯と受信機間の配線が断線していないか？	
	受信機のヒューズが切れていないか？	

配 線 方 法

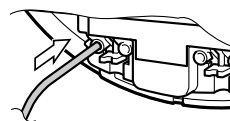


速結端子のご使用方法

- ① 電線の被ふくを 10 mm むく。
単線：φ0.9 mm～φ1.2 mm



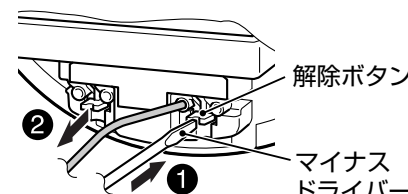
- ② 1本ずつ奥までしっかり差し込む。



- 電線の差し込みが不十分な場合、誤動作のおそれがありますので確実に差し込んでください。
- NYL906DHAの場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。

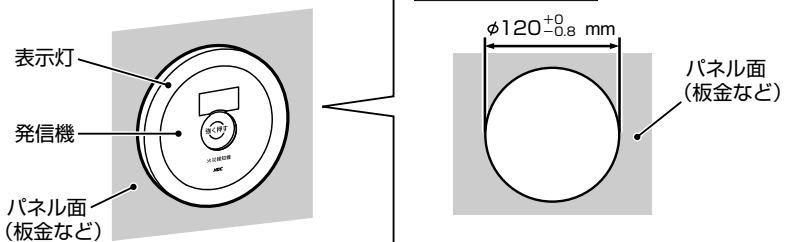
■電線のはずし方

解除ボタンを押しながら電線を引き抜く。

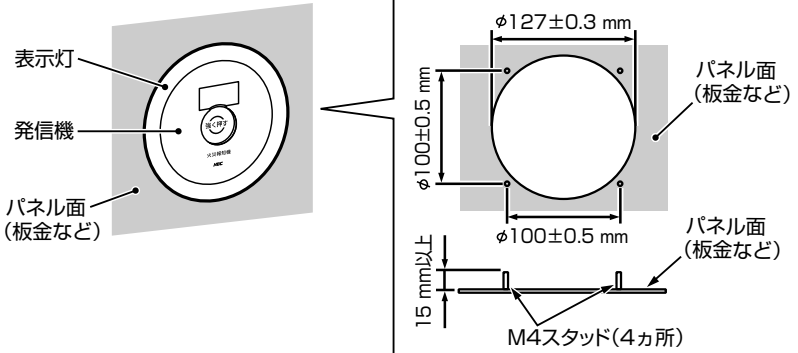


取付寸法詳細図

●かんたん取付の場合

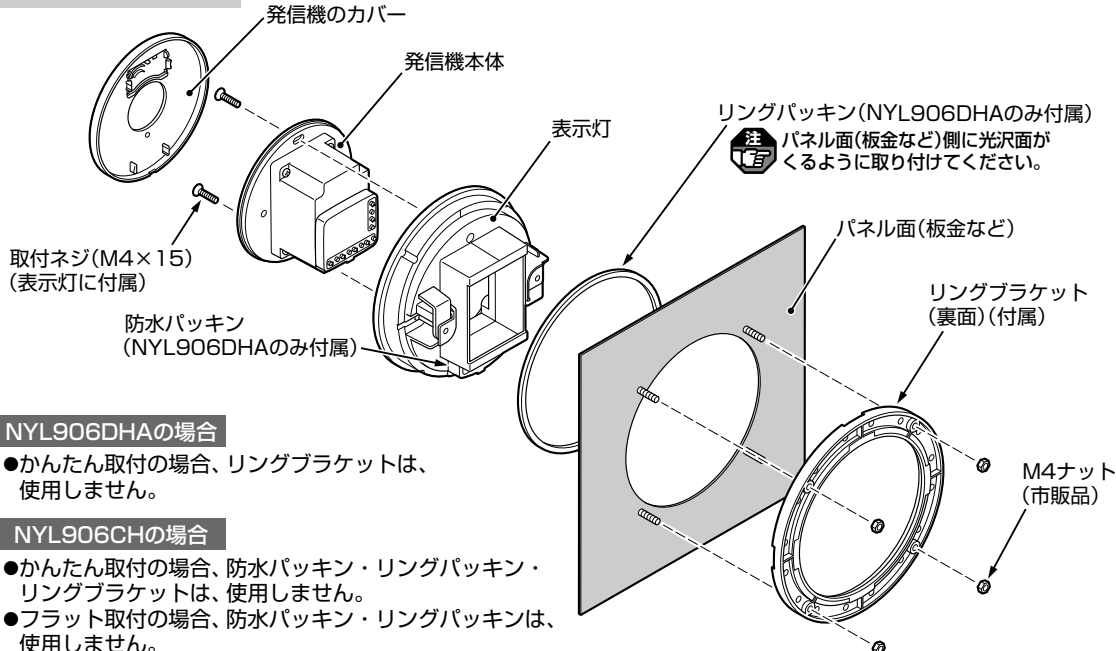


●フラット取付の場合



■取付概要図 ●図はNYL906DHAをフラット取付した場合

裏面から見た場合



NYL906DHAの場合

- かんたん取付の場合、リングブラケットは、使用しません。

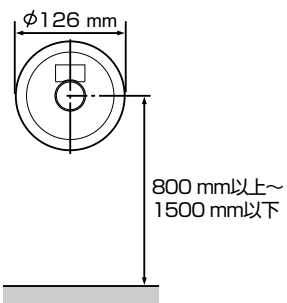
NYL906CHの場合

- かんたん取付の場合、防水パッキン・リングパッキン・リングブラケットは、使用しません。
- フラット取付の場合、防水パッキン・リングパッキンは、使用しません。

取付方法

注 NYL906DHAの施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、表示灯本体と壁面などの間にコーキングをしてください。この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。

① 取付位置を決める。



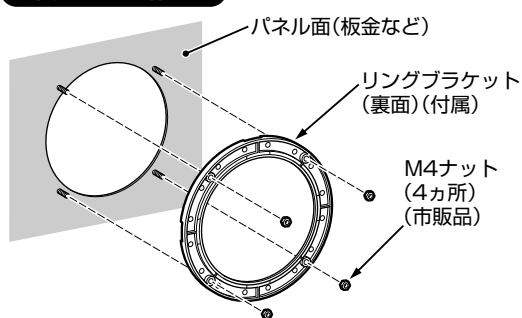
② パネル面(板金など)に穴をあける。

- 「取付寸法詳細図」の「パネル加工寸法図」を参照してください。
- フラット取付の場合は、M4スタッド (4カ所) を加工してください。

③ フラット取付の場合

リングブラケット(付属)をパネル面(板金など)に取り付ける。

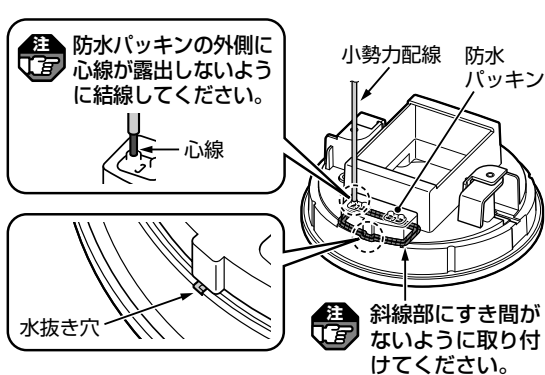
裏面からの作業



④ 表示灯の配線をする。

※「配線方法」(表面)参照。

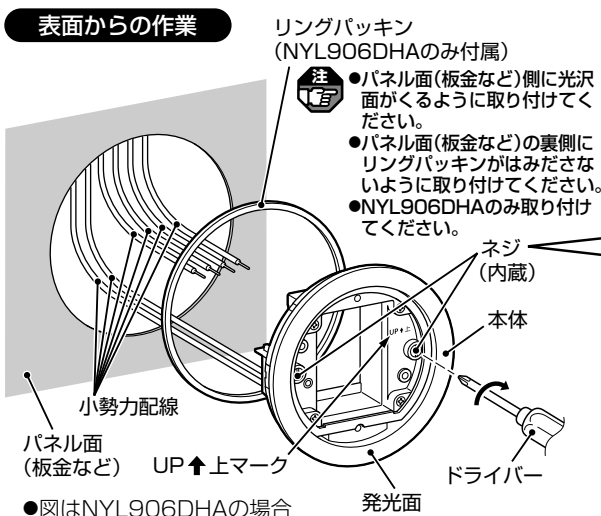
- NYL906DHAの場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。また防水パッキンは正しく取り付けられていないと、防水パッキンと商品のすき間から水が入り故障の原因となります。
- NYL906CHには、防水パッキンは付属されていません。



⑤ 表示灯をパネル面(板金など)に取り付ける。

- 上下を間違わないよう本体のUP↑上マークが上になるように取り付けてください。
- ネジは、本体が変形しないように締め付けてください。(適正締め付けトルク: 0.4 N・m(4.1 kgf・cm))

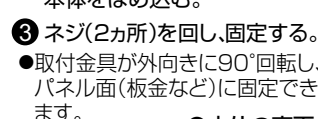
表面からの作業



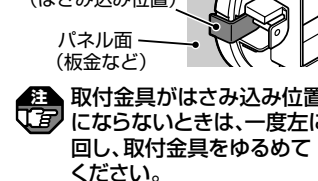
① 取付金具が初期位置になっていることを確認する。



② パネル面(板金など)加工穴に本体をはめ込む。



③ ネジ(2カ所)を回し、固定する。



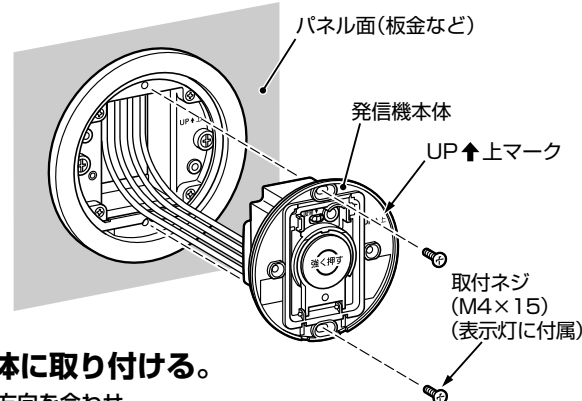
注 取付金具がはさみ込み位置にならないときは、一度左に回し、取付金具をゆるめてください。

⑥ 発信機の配線をする。

※発信機の配線方法は、発信機に付属の施工説明書を参照してください。

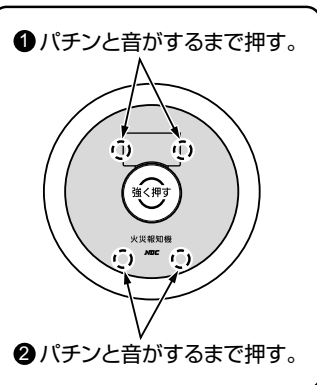
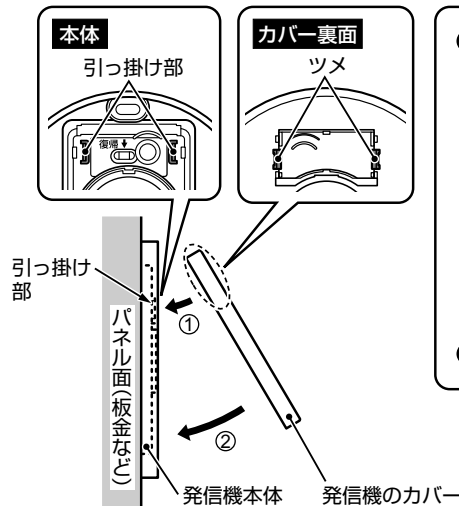
⑦ 発信機を表示灯に取り付ける。

- 上下を間違わないよう発信機本体のUP↑上マークが上になるように取り付けてください。
- 取付ネジは、発信機本体が変形しないように締め付けてください。(適正締め付けトルク: 0.4 N・m(4.1 kgf・cm))



⑧ 発信機のカバーを発信機本体に取り付ける。

- 発信機本体と発信機のカバーの上下方向を合わせ、パチンと音がするまで押して取り付け。
- 取り付け後、壁面に対して発信機のカバーが浮いていないことを確認してください。浮いている場合は、発信機のカバーの発信機本体への取り付けをやり直してください。落下するおそれがあります。
- 発信機のカバーのはずし方は、発信機に付属の施工説明書を参照してください。



■プロテクタの取付方法

- パナソニック(株)製 発信機プロテクタ(埋込型用)(オプション)を使用してください。

- プロテクタには取付方向がありますので、下図のように取り付けてください。

